

放課後等デイサービスにおける
支援プログラム 公表

社会福祉法人葛城市社会福祉協議会 放課後等デイサービス

作成日 令和7年3月14日

法人(事業所)理念

子どもたちと向き合いながら、自分の居場所を見つけ、楽しくまなび、楽しく過ごすことが出来る場所を目指します。

支援方針

子どもたち一人一人に合わせた課題を見つけ、個別または小集団での活動を行います。

すべての子どもたちの健全な発達に向け、利用しやすく参加しやすい、家庭や学校以外で、安心、信頼して過ごせる場所を提供します。

支援プロセス

お子様一人一人の状況や状態を把握し、身体的・精神的機能の適正な支援を行い、日常生活及び社会生活を円滑に営めるようにするために、それぞれに個別支援計画を作成します。作成した個別支援計画に基づき、標準的な支援を提供していきます。

初回

アセスメント

保護者から子どもの生活情報を収集したり、子どもの課題を領域ごとに分析、現状の把握をします。



STEP
1

個別支援計画の作成

アセスメントから領域ごとに課題分析を行い、子どもと環境を考慮し、サービス提供の目標と計画をたてます。



STEP
2

支援の提供

個別支援計画に基づき、子供たちが楽しみながら課題や活動を行うことが出来るよう支援します。



STEP
3

モニタリング

子どもたちの状況や、活動時の様子を常に共有し、把握して分析します。



STEP
4

個別支援計画の見直し

定期的にモニタリングを実施し、モニタリングをもとに、サービス目標や計画に変更がないか見直していきます。



営業日

月曜日から土曜日(祝日はお休み)

休業日

日曜日・祝日(年末年始)

サービス提供時間

平日(月～金) 14:00～17:00
(17:30まで延長利用有り)
土曜・長期休暇 10:00～17:00

送迎の有無

あり

サービス対象地域

葛城市内全域

言語・コミュニケーション

言葉や様々なコミュニケーションを学び、相手の話を理解して、自分の気持ちを言葉にできるよう経験を重ねます。ジェスチャーや表情、アイコンタクトなど言葉以外のコミュニケーション方法を考え工夫します。

- ・言葉あそび
- ・カラオケ
- ・カードあそび など

人間関係・社会性

集団活動への参加や、余暇の遊びの中で、信頼関係の築き方を学びます。子どもたちが協調性や思いやりを育むお手伝いをします。事業所以外の場所へ出かけて、事業所外での体験も行います。

- ・ルールやマナーの経験
- ・市内巡り
- ・お買い物体験
- ・消防署見学
- ・介護施設訪問 など

健康・生活

健康状態の維持や改善、基本的な生活スキルの習得ができるようサポートします。食を営む力の育成と楽しい食事への配慮をし、遊びの中や日常の学習機会を利用した支援を行います。

- ・あいさつ
- ・手洗い
- ・更衣動作 など
- ・持ち物の管理
- ・マナーやルール

運動・感覚

さまざまな身体感覚や感觸を刺激し、保有する感覚の総合的な活用を促します。力の強弱、距離感、気持ちやテンションのコントロールの成長を支援します。

- ・感覚統合
- ・歩行訓練
- ・体育館活動
- ・公園あそび など

認知・行動

特性に合わせ、どのような方法・環境の設定であれば円滑に行動できるか模索します。頑張ると「楽しい」「やってよかった」という達成感と喜びを感じる事が出来るよう支援します。スモールステップで小さな目標を設定し、達成感を味わうことで自信をつけていきます。

- ・パズル
- ・宿題のサポート
- ・あいさつや感謝などの伝え方の学習 など
- ・記憶力ゲーム
- ・避難訓練

家族支援

- ①【見立て】 児童の発達/特性に関する状況・成果/相談・助言等
- ②【計 画】 目標設定に関する意図・相談・助言等
- ③【手立て】 プログラム内容・意図・成果/相談・助言
- ④【実 行】 補助・手法に関する相談・助言等

● 観察の機会提供や個々の子どもに関する事項、支援内容と意図に関する説明/相談/助言などを実施

- ① 児童の発達に関する相談・助言等
- ② 支援内容に関する相談・助言等
- ③ 家庭生活に関する相談・助言等
- ④ 集団生活に関する相談・助言等
- ⑤ きょうだい児に関する相談・助言等
- ⑥ 制度に関する相談・助言等 家族のニーズに応じ、相談援助を事業所での対面にて実施

移行支援

- ① インクルージョン(多様な人々が尊重され、個性を発揮して活躍できる状態)に向けた取組の推進
- ② 事業所で支援し、習得した行動を、学校または家庭、社会へ出たときに同様の行動ができるように支援を行う
 - (1) 練習した場面でないところでも適切な行動ができる
 - (2) 練習と違った指示でも適切な行動を引き出せる
 - (3) 強化因子がなくても適切な行動をしつづけられる
- ③ 地域社会の中で積極的に活動することを推進するため、地域の公園を活用し、集団活動を行う
- ④ 受け入れの際に行った面談や、学校等への訪問等を通じて、児童の心身の状況や生活環境などの情報連携を実施

職員の質の向上

- 実施している研修
 - ・職務責任の理解
 - ・コミュニケーションの基本について学ぶ
 - ・効果的なフィードバックについて学ぶ
 - ・育成に関しての基本的な知識と実践を身に着ける
 - ・他者との交流。悩みや成功体験の共有
 - ・ビジネスマナー・コミュニケーション、接遇マナー研修
 - ・制度に関する研修
 - ・療育に関する研修
 - ・虐待防止(身体拘束)に関する研修及び訓練
 - ・事故防止に関する研修
 - ・感染症に関する研修及び訓練
 - ・防犯に関する研修
 - ・災害に関する研修
 - ・人権、権利擁護に関する研修
 - ・BCP(ビジネスコミュニティプラン)に関する訓練

主な行事

- 実施している行事
 - ・ソーシャルスキルトレーニング(SST)に関するイベント(お買い物体験、街探検など)
 - ・季節に関するイベント(初詣、水遊び、ハロウィンパーティー、クリスマス会など)
 - ・工作に関するイベント(カレンダー作成、ぬり絵、貼り絵など)
 - ・食育に関するイベント(外食会、昼食会など)
 - ・音楽に関するイベント(リトミック、楽器、コンサートなど)
 - ・遠足など